

## 第6回炎症性腸疾患関連消化管癌診療ガイドライン作成委員会 議事録

日時：2023年7月6日（木）11時00分～11時30分

会場：都ホテル尼崎 3F ホテル 鳳凰 北（WEB併用ハイブリッド開催）

委員長：石原聡一郎

出席者（敬省略、50音順）

・現地参加

新垣淳也(浦添総合病院)、池内浩基(兵庫医科大学)、奥川喜永(三重大学)、落合大樹(帝京大学)、吉敷智和(杏林大学)、清松知充(国立国際医療研究センター病院)、小松更一(東京大学)、斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院)、品川貴秀(東京大学)、杉原健一(光仁会第一病院)、須並英二(杏林大学)、瀧山博年(QST病院)、問山裕二(三重大学)、豊島 明(日本赤十字社医療センター)、福田純也(久留米大学)、前田 清(大阪公立大学)、松田圭二(帝京大学)、松橋延壽(岐阜大学)、水島恒和(大阪警察病院)、森 仁志(大阪国際がんセンター)

・Zoom参加

浅野道雄(あさのクリニック)、浦岡俊夫(群馬大学)、大北喜基(三重大学)、岡林剛史(慶應義塾大学)、笠島裕明(大阪公立大学)、下田将之(東京慈恵会医科大学)、高丸博之(国立がん研究センター中央病院)、中島 晋(済生会滋賀県病院)、長沼 誠(関西医科大学)、藤井俊光(東京医科歯科大学)、二見喜太郎(戸畑共立病院)、渡辺憲治(富山大学)

協力者：品川貴秀、野口竜剛、小松更一、津島辰也

### 【審議事項】

1. 前回議事録を確認した。
2. 各論作成の進捗を確認した。外科領域原稿完成し内容確認済み、内科・病理は詰め作業を行っている。今後用語統一作業を予定する。
3. 用語委員会の進捗を報告。渡辺憲治先生(富山大学)より用語定義について解説（「dysplasia」の中に上皮内癌を含む、「異形成」は原則用いない、「異型上皮」には腫瘍非腫瘍を問わず異型を示す上皮が含まれる）。
4. 公聴会とパブリックコメント（CQ部分）について確認。CQは確定した内容をpdfファイルにまとめており、7月7日の公聴会で詳細を伝える予定となっている。大腸癌研究会HPには7月10日以降透かし入りのファイルをアップロードし確認できるようにする予定である。パブリックコメントはGoogleフォームを用いて募集する。極力回答するよう努めるが全てのコメントには難しい可能性がある。  
松田先生（帝京大学）：回答は匿名（任意）でよいのか？

—大腸癌治療ガイドラインに沿って匿名でも可とした。

IBD 班会議でも同様にパブリックコメントを募集する予定 (Word ファイルに記載しメールベースでの返信も受け付ける)。

#### 5. 今後のスケジュール

2023 年 7 月 7 日公聴会

2023 年 7 月 10 日～7 月 31 日パブリックコメント (大腸癌研究会)

2023 年 7 月 20 日～7 月 31 日パブリックコメント (厚労省久松班)

2023 年中にガイドライン評価委員会 (委員長:板橋先生) による評価を経て原稿を完成させる。